

# 全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

ホームページアドレス [ <http://www.zenhokyo.gr.jp> ]

## —今号の目次—

- ・調査研究協力者会議における議論の最終取りまとめ（案）が示される  
～保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築について～…………… 1

## 調査研究協力者会議における議論の最終取りまとめ（案）が示される ～保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築について～

平成28年12月19日、「第4回保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築に関する調査研究協力者会議」が開催され、「調査研究協力者会議における議論の最終取りまとめ（案）～保育士のキャリアパスに係る研修体系等の構築について～」が示されました。

本調査研究協力者会議\*1では、第1回（10月11日）・第2回（10月30日）の議論をふまえて「中間的な取りまとめ」が整理され、今般、第3回（11月24日）における意見等をふまえて、最終取りまとめ（別添資料）の提示があったものです。

加筆・修正等された点は、研修の実施方法を段階化すること、研修の受講後にレポート提出を求めること、研修履歴を可視化（共通のハンドブック等）すること、実施機関によりばらつきがでないよう国がガイドライン等を定めること、などが挙げられています。

検討されてきた8つの分野別研修（「乳児保育」「幼児教育」「障害児保育」「食育・アレルギー対応」「保健衛生・安全対策」「保護者支援・子育て支援」「マネジメント」「保育実践」）の内容では、個々の分野に関する『ねらい』が設定されるとともに、具体的な研修内容の例が挙げられています\*2。

このほか、「研修修了の情報管理」について、研修の実施主体は都道府県とすること（適当と認める団体に委託する方法も可）、保育団体や指定保育士養成施設が実施する研修を都道府県が指定することができること等をふまえて、情報管理のイメージが図示されています。

なお、本調査研究協力者会議をふまえた「シンポジウム」の開催が平成29年2月に予定され、研修内容や実施方法等について、地方公共団体等へ周知が図られていきます。

最終取りまとめ（案）は、第4回の協議をふまえて、座長・事務局（厚労省）で記載修正のうえ、年内を目途に最終報告とする旨が座長から確認されました。

\*1 調査研究協力者会議には、全国保育協議会 小島 伸也 副会長が参画。

\*2 「具体的な研修内容（例）」については、「内容」欄の研修事項として考えられる具体的な例であり、研修事項に即した内容であれば、これに限定されるものではない。」旨の注が付されています。